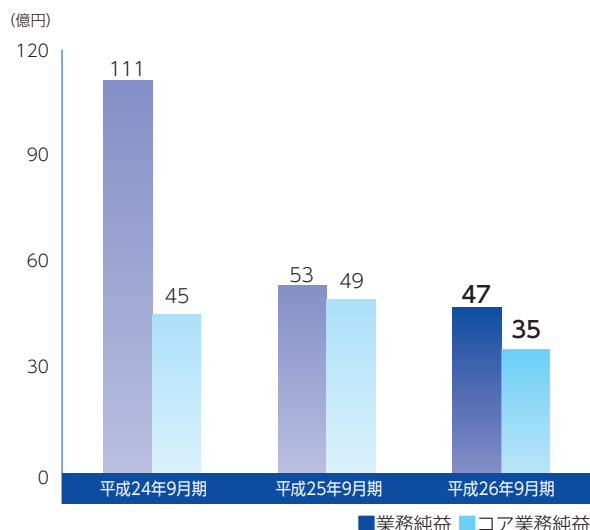


## 業務純益とコア業務純益

コア業務純益は、経費は減少しましたが、貸出金利回りの低下等から、資金利益が減少したこと等により前年同期比13億44百万円減少し35億93百万円となりました。

なお、国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を含めた業務純益は、前年同期比5億55百万円減少し、47億56百万円となりました。

## 業務純益とコア業務純益

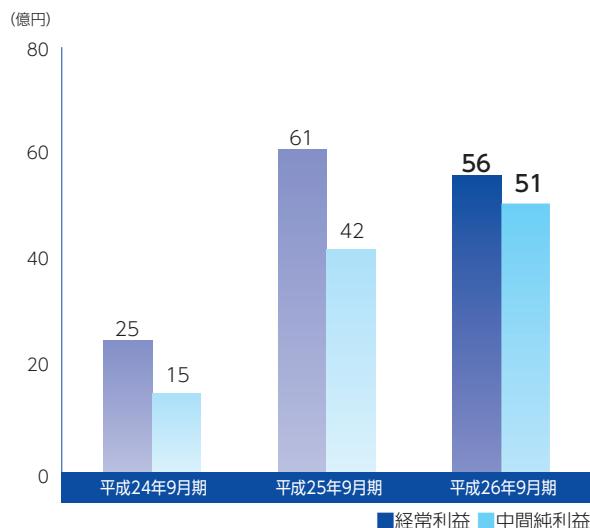


## 経常利益と中間純利益

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少等により、前年同期比17億71百万円減少し218億44百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損や営業経費の減少等により、前年同期比12億63百万円減少し162億29百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比5億9百万円減少し56億14百万円となりました。中間純利益は、法人税等の減少により、前年同期比9億21百万円増加し51億27百万円となりました。

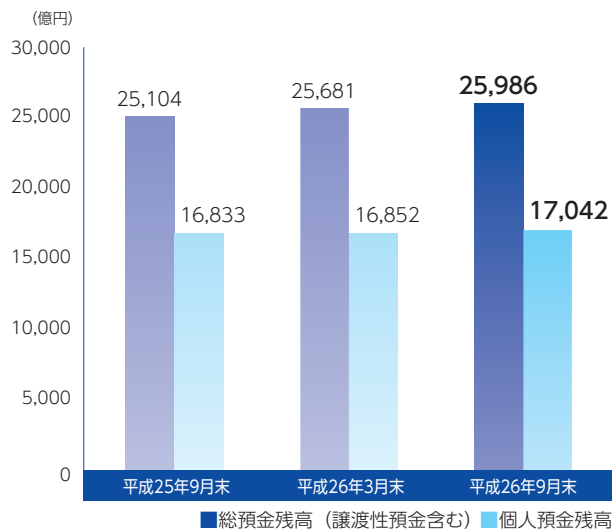
## 経常利益と中間純利益



## 総預金と個人預金

総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金や譲渡性預金の増加等により、前年度末比305億円増加し2兆5,986億円となりました。前年同期末比では882億円増加しました。個人預金は、前年度末比190億円増加し1兆7,042億円となりました。前年同期末比では209億円増加しました。

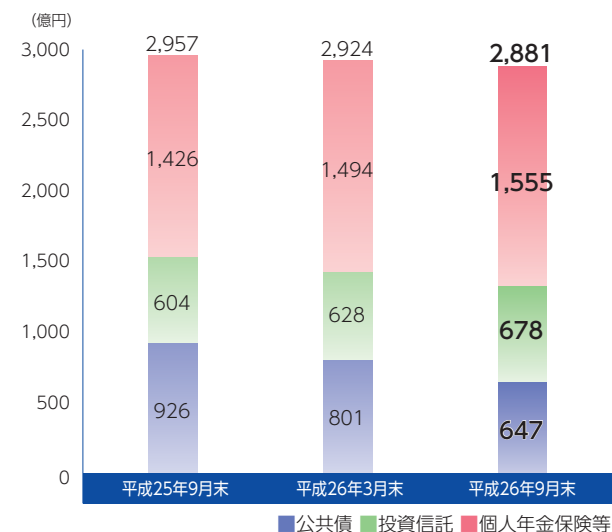
## 総預金残高（譲渡性預金含む）と個人預金残高



## 個人預り資産

お客様の資金運用ニーズの多様化にお応えするよう努めました結果、投資信託と個人年金保険等は増加しましたが、公共債の減少により、前年度末比43億円減少し2,881億円となりました。前年同期末比では76億円減少しました。

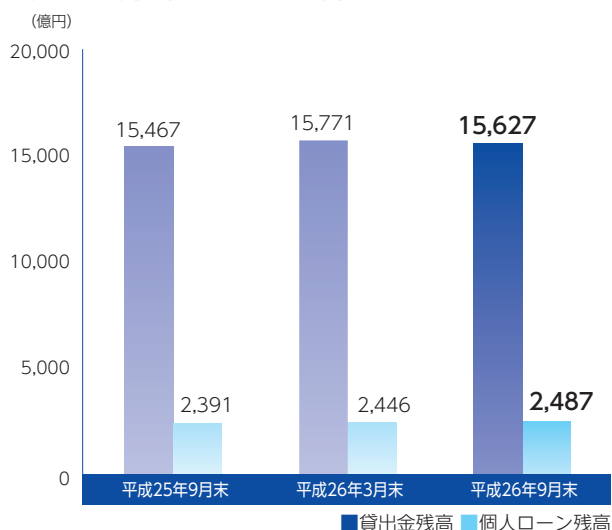
個人預り資産残高(公共債、投資信託、個人年金保険等)



## 貸出金と個人ローン

貸出金残高は、事業性貸出金の減少により、前年度末比144億円減少し1兆5,627億円となりました。前年同期末比では160億円増加しました。個人ローンにつきましては、住宅ローン、その他ローンがそれぞれ増加し前年度末比41億円増加の2,487億円となりました。前年同期末比では、96億円増加しました。

貸出金残高と個人ローン残高



## 有価証券

有価証券は国債等の購入により、前年度末比1,544億円増加し1兆665億円となりました。前年同期末比では2,912億円増加しました。

有価証券残高

